

◎第6回理事会(37.11.29)出席者:
藤井会長,山本,岡本副会長,ほか理事
8名。協議事項:1)定款改正について。
2)土木実験書シリーズ出版について。
3)東洋レーヨン科学技術研究候補者推
薦について。4)支部幹事長会議につい
て。5)岩盤力学研究委員会設置につい
て。6)その他。7)会員入退会。報告
事項:1)会計報告。2)刊行物申込一
覧について。3)委員会委員長および委
員,幹事委嘱について

- a. 論文集編集委員会委員追加
杉木昭典氏(建設省土木研究所)
- b. 原子力土木技術委員会委員
横戸 実氏 後任 北野 章氏(建設省河川
局計画課)
村田二郎氏(都立大学)新規追加
- c. トンネル工学委員会委員追加
足立貞彦氏(国鉄静岡幹線工事局)
- d. 学術講演連絡委員会委員追加
浅井新一郎氏(建設省道路局)
伊藤 学氏(東京大学)
松本嘉司氏(国鉄新幹線総局)
松崎彬磨氏(首都高速工務部)
梅野康行氏(建設省河川局)
- e. コンクリート構造急速施工委員会
委員長 國分正胤氏(東京大学)
主 査 杉木六郎氏(小野田セメント)
委 員 野口 功氏(国鉄構造物設計事務所)
“ 小寺重郎氏(国鉄新幹線総局)
“ 上前行孝氏(首都高速道路公団)
“ 青柳征夫氏(東京大学)
“ 松本嘉司氏(国鉄新幹線総局)
“ 多田安夫氏(建設省土木研究所)
“ 村田二郎氏(都立大学)
“ 岡村 甫氏(東京大学)
“ 北川義男氏(鹿島建設技研)
“ 田原保二氏(日本構造橋梁)
“ 河野 清氏(小野田セメント)
“ 山崎寛司氏(日本セメント)
“ 國枝 晃氏(工業技術院)
“ 大島哲男氏(建設省道路局)
“ 杉原堅二氏(全国コンクリート製品
協会)
“ 古藪徳二氏(ボールパイル協会)
“ 海上秀太郎氏(PC技術協会)
“ 下村 節義氏(ヒューム管協会)
“ 猪股 俊司氏(日本構造橋梁)
“ 斎藤 辰彦氏(大成建設)
“ 伊東 茂富氏(建設省土木研究所)
- f. 異形鉄筋実験研究小委員会
委員長 國分正胤氏(東京大学)
委 員 丸安隆和氏()

- 委 員 小林一輔氏(東京大学)
“ 後藤幸正氏(東北大学)
“ 岡村 甫氏(東京大学)
“ 三浦一郎氏(国鉄技研)
“ 河野通之氏(国鉄新幹線総局)
“ 松本嘉司氏()
“ 河野 清氏(小野田セメント)
“ 中山紀男氏(日本セメント)
“ 中村正平氏(建設省土木研究所)
“ 樋口芳朗氏(国鉄技研)
“ 富田勝信氏()
“ 山田順治氏(日本セメント)
“ 杉木六郎氏(小野田セメント)
“ 野口 功氏(国鉄構造物設計事務所)
“ 村田二郎氏(都立大学)

◎各種委員会

(1) 第3回論文集部会長会(37.10.
29)出席者:丸安委員長,吉川部会長,
ほか幹事4名。議事:1)各部会報告。
2)新規受付原稿審査委員の決定。3)
用語の統一について。4)著者問合せ論
文について。5)土木賞・吉田賞につい
て。6)衛生工学部部門委員追加につい
て。7)その他。

(2) 第6回文献調査委員会(37.10.
30)出席者:千秋委員長,ほか委員およ
び幹事7名。議事:1)48巻1号登載抄
録の決定。2)大学・研究所・官公庁・
会社などの外国雑誌備付リストの調査の
件。3)文献抄録欄と資料欄との関係に
ついて。4)その他。

(3) 第6回会誌編集委員会(37.10.
31)出席者:八十島,堀正副委員長,ほか
委員14名。議事:1)投稿原稿状況報
告。2)投稿原稿審査報告。3)新規受
付原稿報告および審査委員の決定。4)
依頼原稿状況報告。5)各種打合せ,小
委員会報告。6)48巻1号(新年号)よ
りの会誌編集方針。7)その他。

(4) 異形鉄筋設計研究小委員会幹事
会(37.10.31)出席者:幹事3名。議事
:設計例示集の最終打合せを行なった。

(5) トンネル工学委員会設計小委員
会(37.11.1)出席者:坂本主査,ほか
委員7名。議事:1)巻厚,幅の実績を
まとめた調査結果につき審議。2)次
には覆工,支保工の外国の例を調査する。
3)幅と,セクション,ピッチ,タイプ
を次回までに調査する。

(6) 水理公式集改訂委員会主査幹事
会(37.11.5)出席者:横田委員長,ほ
か主査,幹事7名。議事:1)執筆委員
の分担について。2)作業予定について
打合せた。3)各編の章,節の具体案に
ついて。4)各部会の部会について。

(7) 地震工学国内シンポジウム運営

委員会(37.11.5)出席者:岡本委員長,
ほか委員および幹事7名,事務局4名。
議事:1)シンポジウムについて。2)
その他。

(8) トンネル工学委員会施工小委員
会(37.11.6)出席者:住友主査,ほか委
員8名。議事:1)トンネル工学標準示
方書施工編作成のための打合せを行な
った。2)その他。

(9) 本州四国連絡橋技術調査委員会
上部構造に関する専門部会幹事会(37.
11.8)出席者:建設省側幹事5名,国鉄
側幹事5名,ほか関係者1名。議事:1)
議事録の承認。2)設計指針の検討(資
料No.4)。3)試算設計について(設
計指針および構造概要図)。4)風に関
する調査;①現在までの調査と観測資
料,②今後の方針の審議。5)次回専門
部会について。

(10) 第6回会誌編集小委員会(37.
11.9)出席者:堀副委員長,ほか委員4
名。議事:1)48巻1号(新年号)の内
容を内定。2)表紙の刷色についての検
討。3)新しい編集方針についての意見
など。4)その他。

(11) プレストレスト コンクリート
鉄道橋設計施工基準研究小委員会幹事
会(37.11.9)出席者:國分委員長,ほか
委員および幹事9名。議事:1)プレ
ストレスト コンクリート鉄道橋設計施
工基準の制定につき逐条審議。

(12) 高校土木教育研究会第5回幹事
会(37.11.10)出席者:八十島幹事長,
ほか幹事8名。議事:1)実験指導書編
集について。2)PR映画製作について。
3)スライド(その他視聴覚教材)の製
作について。4)その他。

(13) 高校土木教育研究会第4回委員
会(37.11.10)出席者:委員および幹事
14名。議事:1)実験指導書編集につ
いて。2)PR映画製作について。3)ス
ライド(その他視聴覚教材)の製作につ
いて。4)その他。

(14) トンネル工学委員会(37.11.10)
出席者:委員25名,ほか関係者2名。
議事:1)設計小委員会経過報告(坂本
主査)。2)施工小委員会経過報告(住
友主査)。3)調査小委員会経過報告
(村山主査)。

(15) 地震工学国内シンポジウム運営
委員会幹事会(37.11.12)出席者:岡本
委員長,ほか幹事5名,事務局4名。議
事:1)シンポジウムについて。2)収
支について。3)その他。

(16) 異形鉄筋設計研究小委員会(37.
11.13)出席者:國分委員長,ほか幹事

6名。議事：1) 異形鉄筋について(設計例示の登載論文)の説明(松本幹事)。2) その他。

(17) プレストレスト コンクリート 鉄道橋設計施工基準研究小委員会打合せ (37.11.13) 出席者：国分委員長，ほか委員および幹事8名。議事：1) プレストレスト コンクリート 鉄道橋 設計施工基準のうち鋼材に関する部分の審議を行なった。2) その他。

(18) 第1回コンクリート構造急速施工工委員会 (37.11.14) 出席者：国分委員長，杉木主査ほか委員19名，ほか1名。議事：1) 前回打合せ報告および議事録の承認。2) 資料(1-1)~(1-9) 資料を各提出委員より説明。3) 委員の追加について。4) その他。

(19) トンネル工学委員会調査小委員会 (37.11.15) 出席者：委員6名。議事：1) 5月28日の委員会審議事項の再検討。2) 調査示方書に掲載する項目，の決定とその内容について。3) その他。

(20) 原子力に対するコンクリート技術に関する打合せ (37.11.16) 出席者：国分氏(東大)ほか16名。議事：1) 原子力に対するコンクリート関係の件につき，かねてから原子力土木技術委員会と問題となっている廃棄物の貯蔵，同海洋投棄の容器など，コンクリートと原子力の問題につき検討した。2) 原子力土木技術委員会に村田二郎氏(都立大)をコンクリート委員会側委員として委嘱し，今後の御連絡を願う。

(21) 第4回出版企画委員会幹事会 (37.11.16) 出席者：奥村幹事長，ほか委員および幹事3名。議事：1) 工事誌類の出版についての今後の方針。2) 委員長会議開催の下準備。3) 高校土木教育研究会編集の実験指導書出版に関する検討。4) 学会のPR方法については高校側とも協議する。5) 創立50周年記念出版物についての方針。6) その他。

(22) 第6回原子力土木技術委員会 (37.11.19) 出席者：左合委員長，ほか委員7名。議事：1) 第5回委員会議事録の朗読。2) PR映画について。3) 原子力関連学協会打合せ報告；①運営委員の選出……角谷委員に決定。4) 新委員の追加 北野 章氏(建設省)。5) 11月16日の原子力に対するコンクリート技術に関する打合せ報告。6) 委託研究について；最近の内に鶴尾，北川，野口の3委員が打合せをし，次回委員会で検討する。7) その他。

(23) 地震工学国内シンポジウム運営

委員会幹事会 (37.11.20) 出席者：岡本委員長，ほか幹事6名，事務局4名。議事：1) シンポジウムの経過について。2) 収支について。3) 討論の編集について。4) その他。

(24) プレストレスト コンクリート 委員会施工分科会 (37.11.21) 出席者：国分委員長，菅原主査，ほか委員および幹事9名，関係者3名。議事：1) 接着材試験結果報告。2) コンクリート用接着・注入Epoxy 樹脂試験報告。3) PC橋のひびわれの補修にともなう実験計画について。4) PC施工分科会研究活動報告1)について。5) レディミクストコンクリート分科会について。6) その他。

(25) プレストレスト コンクリート 鉄道橋設計施工基準研究小委員会幹事会 (37.11.21) 出席者：国分委員長，ほか委員および幹事10名。議事：1) プレストレスト コンクリート 鉄道橋 設計施工基準の逐条審議。2) その他。

(26) 海外連絡委員会 (37.11.21) 出席者：田中委員長，ほか委員および幹事10名。議事：1) 国際会議出席者の件。2) Civil Engineering in Japan について；a) 1961年版の有償頒布先と評価，b) 1962年版についての検討。3) その他；海外進出について話し合った。

(27) 地震工学国内シンポジウム運営委員会討論編集打合せ (37.11.26) 出席者：久保幹事，ほか委員3名，事務局2名。議事：地震工学国内シンポジウムの討論の編集につき打合せを行なった。

(28) トンネル工学委員会施工小委員会 (37.11.26) 出席者：住友主査，ほか委員8名。議事：1) トンネル工学標準示方書施工編につき審議。2) その他。

(29) トンネル工学委員会設計小委員会 (37.11.26) 出席者：坂本主査，ほか委員7名。議事：1) トンネル工学標準示方書設計編作成のための打合せを行なった。2) 12月10日までに担当委員から届けた。グラフを整理発送する。3) その他。

(30) 水理公式集改訂小委員会発電水力部会 (37.11.27) 出席者：林主査，ほか委員および幹事5名。議事：1) 各執筆より担当の章に関する節割の具体案を提示し，各章相互間の執筆内容につき調整を行なった。2) 各委員は節割を12月10日までに主査に提出し，各編部会の節割と合せて印刷のうえ年内に全委員に配布することにした。3) その他。

(31) コンクリート構造急速施工委員会幹事会 (37.11.28) 出席者：幹事6

名。議事：1) 外国文献の翻訳，次回第2回委員会資料の調整を行なった。2) その他。

◎その他

(1) 国鉄新幹線試乗見学会

日時：昭和37年11月7日(水)

場所：相模川東側←→鴨宮

参加者：27名

(2) 丹那トンネル見学会(トンネル工学委員会主催)

日時：昭和37年11月10日(土)

場所：新幹線新丹那トンネル

参加者：約90名

見学場所：

1) 貫通後の全区間の施工状況

2) 鋼管支保工

3) 鋼管ルーフィング

なお，見学についてこれに関するシンポジウムを行なった。

(3) 地震工学国内シンポジウム

(1962)

共催：土木学会，日本建築学会，土質工学会，地震学会

日時：昭和37年11月15日(木)~17日(土)

場所：私学会館

講演：46題 パネル討論：3題(説明者9名)

参加者：延べ約1500名

懇親会(37.11.16)：参加者60名

(4) 第13回関東地区学生諸君のための映画会

日時：昭和37年11月17日(土)
14.30~16.30

参加者：19名

上映映画：

(1) 巨大なビルを作る

(2) ハイウェイを作る

(3) 現代を作る

支部だより

◎関西支部

(1) 第8回学生見学会(大阪府下土木工事見学会 37.10.27)

梅田地下街工事，名神高速道路豊中インターチェンジ，府道大阪池田線工事，京阪電鉄地下鉄工事を見学

参加者96名

(2) 支部年次学術講演会(立命館大学 37.11.11)

特別講演 日本における地域計画の源流

立命館大学教授 理博 谷岡武雄
一般講演 74題

参加者 258 名
(3) 第9回学生見学会 (京都府下土木工事見学会 37.11.17)
 京阪神急行電鉄四條線延長工事, 天ヶ瀬ダム, 天ヶ瀬水力発電所建設所を見学
 参加者 124 名
(4) 38年土木学会総会実行委員会打合せ (学会関西支部事務局 37.11.15)
 出席者: 矢野 委員長
 総務委員 米谷, 伊藤, 田中, 重野, 森田
 財政委員 三上, 岩崎, 新井, 柳田, 西田, 中平, 宮田
 総会委員 } 毛利, 石原, 大村, 赤尾,
 講演委員 } 合田, 赤井
 見学委員 小笠原, 水野, 三谷 (代玉置)

(5) 第7回幹事会 (土木学会関西支部事務局 37.11.15)
 出席者: 矢野支部長, 米谷幹事長, ほか幹事 12 名
◎西部支部
(1) 第5回運営調査会および第4回幹事会合同開催 (37.11.14)
 出席者: 松尾支部長, 村上委員長, 服部幹事長, ほか委員および幹事10名。
 議 題 (1) 新材料, 新工法発表申出中より発表分撰択の件
 (2) 支部会員名簿印刷の件
 (3) 土木賞候補推せんの件
(2) 第1回新材料, 新工法発表会
 日 時: 37年12月18日 (火) 9.00~16.30
 場 所: 福岡市天神ビル 11 階ホール

入場料: 無料
 発表題目:
 (特別講演) 新しい金属材料
 九大教授 海江田弘也
 フォーム クリートについて
 麻生産業 橋爪 豊
 着色舗装について 日本舗道 昆布谷竹郎
 直線鋼矢板セル型岸壁築造工法について
 間 組 徳永終一郎
H-Beam Bridge について
 八幡製鉄 望月 博正
PC杭 について
 大同コンクリート工業 中田 重夫
 鋼杭工法について 富士製鉄 石綿 知治
 ハイドロック工法について
 三井建設 石川 良夫
 会員よりこの種現場的な材料または研究発表の要望があつて試みたもので、第2回発表会は 38 年1月末開催の予定。

**編 集
後 記**

秋深い一日、四ッ谷の壕跡の一隅に、時おり走り去る国鉄電車の音を耳にしなが、静寂の吹きだまりのような土木学会の会議室で、昭和 38 年の新年号の編集を行ないました。

× ×

八十編編集委員長の提案になる編集方針の基準の第一条は、読者に「親しまれる」、読者に「魅力を感じさせる」、ということですが、実際に編集を手がけて見て、言うべくして行なうことのむずかしさを、痛感させられました。

特に近年の科学の進歩は目ざましく、土木工学も各部門ごとに拡く深く発展してゆきつつあります。各部門が拡く深く伸展するにつれて、各

部門個々の活動はさかんととなり、各部門ごとに会誌を発刊し、分化独立して行く必然的傾向があるように見受けられます。このような現況での学会誌の有意義なあり方は、いろいろ問題があるのではないのでしょうか。編集にあたって、学会誌本来の性格を損なうことなく、新しい時勢における学会誌としての立場を失なうことなく、前進の一步をいかに踏み出すべきか、今後には問題が多く、会員の皆様と一緒に考え、歩んで行きたいと思ひます。

表紙についてですが、今年は表紙の色だけを変えることにしました。毎年 12 冊ずつ、年ごとに違った色の背表紙で、書棚に学会誌が整理されて行くのは見やすくまた楽しいこ

とでしょう。新年号のカラー口絵として間組の御協力により黒四ダム、畑薙ダムの威容を掲載しました。本文の内容として特に目新しいものもありませんが、村本周三氏：銀行の窓から見た建設事業と建設業、は著者が会員でなく金融界に活躍されておられる関係から、われわれ会員とは違った角度から客観的な批判がなされたという点、大いに読者の興味を引くものがあると思われま。また「土木技術と人材」と題する座談会の速記録もせましましたが、若い方々の御意見を大いに伺いたいものです。あまり変りばえのしない編集になってしまいましたが、年のあらたまることによりよい学会誌のできることを約束します。【藤井・記】

昭和37年度土木学会誌編集委員

委 員 長	八十島 義之助	副委員長	堺 毅	(五十音順)		
委 員	伊藤 謙一 後藤 績 中川 稔 南部 繁春	石井 文夫 佐藤 尚徳 中沢 弼仁 森 麟	江島 淳彦 斉藤 俊彦 永田 二生 森本 茂男	大山 忠一 千秋 信一 新谷 洋二 渡辺 隆	加藤 信夫 妹尾 隆之 針ヶ谷 信 委員兼幹事	片山 祐一 奈良部 俊雄 藤井 喬 松本 成男
地方委員	(北海道支部) 岸 力 岡元 北海	(東北支部) 松本 順一郎 岩崎 敏夫	(中部支部) 酒井 清太郎 増田 重臣	(関西支部) 伊藤 富雄 岡田 清	(中四支部) 長尾 満	(西部支部) 荒木 正夫 高橋 健二

「ロータリー」欄について

「ロータリー」欄の原稿を広く募集しております。
原稿募集要項は下記のとおりですが、御不明の点は編集部へお問い合わせ下さい。

記

- (1) 投稿は団体、個人を問いませんが、土木学会の会員（団体の場合は特別員）であることを要します。
- (2) 土木技術に関係の深い新しい材料、新製品、建設機械、施工技術などの紹介を主眼とし、なるべく実施例のあるものを中心にして下さい。
- (3) 記述にあたっては、内容が宣伝のみに終わらないよう配慮し、単価、示様、性能、特徴、使用実例、問題点（すなわち自己批判）などを列記して下さい。
- (4) 原稿は写真、図表をふくめて一枚あたり400字詰原稿用紙6枚以内（刷上り1ページ以内）を原則とし、毎月5日を締切とします。
- (5) 原稿の末尾に会員資格、提供者名、連絡先を必ず書いて下さい。

会員入退会について（昭和 37.11.1～11.30）

1. 入会	82名（正24学48特1・C3特1・D7）	4. 死亡	4名（正）
2. 復活	1名（正）	5. 転格	2名（正→学1学→正1）
3. 退会	9名（正）		

特別員入会状況

（昭和 37.11.1～11.30）

昭和	37.11.10	特1・C	三洋水路測量 KK	東京都
"	11.19	"	創和測量工務 KK	横浜市
"	11.22	"	KK近畿復建事務所	大阪市
"	11.7	特1・D	KK明和土木設計事務所	東京都
"	11.10	"	KK不二測量工業社	神奈川県
"	11.12	"	京都測量 KK	京都市
"	11.19	"	KK八雲建設コンサルタント	島根県
"	11.22	"	KK大場土木建築事務所	東京都
"	"	"	丸誠重工業 KK	大阪市
"	11.29	"	KK藤田組技術研究所	東京都

会員現在数（昭和37年11月30日現在）

名譽	正員	学生員	賛助	特級	特1・A	特1・B	特1・C	特1・D	2級	計	（増）
46	13382	1465	30	15	16	27	160	248	21	15410	70

正員	伊藤定雄君	朝日建設企業KK常務取締役	昭和 37.3.3	死去	52才
"	本間昌吉君	鹿島通運KK常務取締役	" 37.5.1	"	65才
"	木村良雄君	九州工業高等学校教諭	" 37.1.25	"	61才
"	岡村式郎君	KK岡村組	" 37.11.22	"	25才

昭和 38 年 1 月 10 日印刷

昭和 38 年 1 月 15 日発行

土木学会誌 第 48 巻 第 1 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂溜池5番地

発行者 末森猛雄

発行者 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定価 200円（送料20円）

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130・5138・5139 番